

ことしの主な事業

町の魅力発信、観光物産振興対策をはじめ 公共施設・医療器機・交通網の整備など幅広く実施

一般会計は前年度比プラス8.2% 4億2428万円の増額

●地域おこし協力隊設置事業
本年度に採用された隊員に係る給与や活動費並びに令和5年度の隊員募集等に係る経費
1410万円

町外から2名の協力隊員を採用し、「外からの視点」での新たな発信による町の魅力発信に期待しています。
また、来年度からの隊員も募集し、町民と一体となって「新たなまちづくり」を進めていきます。

●新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全国的に観光客の激減や地域特産品の販売低迷など、地域経済に大きな影響を及ぼしています。
町では、本年度から地域おこし協力隊を導入し、地域活性化を図るための様々な情報発信、PR活動などを実施します。
また、安心安全を第一に、老朽化の著しい既存の観光施設を改修するなど、積極的に事業を実施してまいります。

地域振興対策
夢と希望の持てる
まちづくりを目指して



老朽化が進み改修されるサロマ湖展望台

●観光デジタルポータルサイト整備事業
令和3年度からの2カ年計画で実施する、新たな観光情報発信体制の構築に係る経費
313万円

●道の駅物産館みのり換気設備改修工事
多くの観光客が訪れる道の駅の新型コロナウイルス感染症対策として、物産販売スペース、食事スペース及びトイレの換気設備改修工事
337万円

●サロマ湖展望台改修工事
令和3年度からの2カ年計画で実施する、老朽化した展望台の大規模改修工事
8221万円

●屋内ゲートボール場照明器具取替工事
照明器具24カ所の安定器及びLED電球への取替
843万円

●佐呂間保育所屋上防水工事
経年劣化に伴う屋上全体の防水塗り及び一部屋根の破風板補修工事
867万円

●クリニックさろま電子カルテ機器等更新事業
開設時に導入した電子カルテ機器及び電子検査機器等の耐用年数経過に伴う更新
5630万円



現在の柘木線バス(グリーン車体)

●市街街路灯取替工事
佐呂間市街地の街路灯LED化(3カ年計画の2年目)
5665万円

●ふれあいバス購入事業
老朽化した柘木線マイクロバスの更新
1153万円

その他の主な事業

●若佐歯科診療所治療機器購入事業
痛みや振動が少なく、麻酔が必要な治療を限りなく抑制することができるレーザー式歯科治療器の購入
708万円

●浜佐呂間農村公園遊具更新工事
町内の老朽化した各公園遊具を計画的に更新
910万円

●除雪機械購入事業
除雪車両(フレッター)の更新
6381万円

●トップウシベツ川防災対策事業
富武土地区を流れるトップウシベツ川の棚板設置工事
3520万円

●若佐小学校改修工事
経年劣化に伴う校舎内窓の改修工事
1391万円

●町民センター舞台装置改修工事
経年劣化した舞台装置各種の改修工事
667万円

特集 まちの予算をみる

令和4年度 当初予算

令和4年第1回定例会において、次の当初予算が提案されました。

- 令和4年度一般会計予算
- 令和4年度簡易水道特別会計予算
- 令和4年度国民健康保険特別会計予算
- 令和4年度公共下水道特別会計予算
- 令和4年度介護保険特別会計予算
- 令和4年度介護サービス事業特別会計予算
- 令和4年度後期高齢者医療特別会計予算

提案された各会計予算について、議長を除く8名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、付託して審議を行うことを決め、9日に開催された特別委員会では委員長に但木委員、副委員長に三田委員を選任し、10日に集中審議を行った結果、原案可決しました。

その後、14日の本会議において、但木委員長より審査結果報告がなされ、採決の結果、原案のとおり可決しました。

予算特別委員会

3月9日・10日

令和4年度 各会計当初予算

会計区分	4年度当初予算	3年度当初予算	対前年度増減額	増減率	
一般会計	55億7908万円	51億5480万円	4億2428万円	8.2%	
特別会計	簡易水道	5億1263万円	3億8570万円	1億2693万円	32.9%
	国民健康保険	8億1412万円	8億3235万円	▲1823万円	▲2.2%
	公共下水道	3億3440万円	2億9345万円	4095万円	14.0%
	介護保険	5億2592万円	5億2679万円	▲87万円	▲0.2%
	介護サービス事業	2億5496万円	2億6705万円	▲1209万円	▲4.5%
	後期高齢者医療	8960万円	9777万円	▲817万円	▲8.4%
合計	81億1071万円	75億5791万円	5億5280万円	7.3%	

予算
特別委員会
委員長報告
(要旨)

令和4年度は第5期町総合計画の2年目であり、これらの計画などと整合性を図った予算編成であるか、町の現状を踏まえ住民福祉の向上に繋がるものであるか、コロナ禍の影響もあり財政状況が厳しい中、最小の経費で最大の効果が図られる施策・事業となっているかなどに重点をおき、審査を行いました。

歳入については、予算の45%を占める地方交付税は増額を見込んでいますが、収支のバランスは各種基金の繰り入れにより図られているのが実情です。

歳出については、限られた財源の中で新たな行政課題も考慮し、事業の必要性・妥当性に十分な配慮がなされています。

地方創生と人口減少の克服は、国・地方自治体において最重要課題であり、地方が自らの判断と責任においてそれらの課題に取り組み、緊急性・将来性・効率性など十分な精査を行いながら、安定的な財政運営と安全で安心な住みよい町づくりを願っています。

第1回定例会

・特集 まちの予算をみる

第1回定例会

・特集 まちの予算をみる

令和4年度予算の
使い道を徹底審議！

予算特別委員会質疑の中から

農林水産業費

農業後継者対策

三田 農業後継者対策事業費補助金ですが、事業後継者に補助する見込みでしょうか。

農務課長 この補助金は、個々に補助をしているのではなく、農協が事務局をしており、そちらに一括補助をしています。事業の内容は、後継者の育成やさろまちこん事業、女性部に対する事業や農業体験に来た際の宿泊助成という形でこの補助金を活用しています。

三田 では、この補助制度は、町が独自に行っているというよりは、農協が行う後継者対策に対しての補助金ということでしょうか。

農務課長 そうです。実際の事務的なものは農協が行っていますが、ここ2・3年は新型コロナウイルスの影響で7・8割方活動ができておらず返還になっていきます。

有害鳥獣の駆除

高橋 有害鳥獣駆除に要する経費のうち、猟友会の後継者対策として2名分の免許取得奨励を見込んでいますが、現状の猟友会員数と今後の推移はどのようになっているのでしょうか。

経済課長 猟友会は、若佐地区と佐呂間地区の2つの分会に分かれており、合わせて約34名ほどの会員がいます。狩猟免許の関係で、銃器の許可を取って、実際に大型動物を捕獲するためのライフル銃の取得までには10年ほど経験年数が必要ですが、現在半数以上の会員が60歳以上とい

う状況であり、新しい方が狩猟免許と銃器の許可を取得して一人前になるまでに、多くの会員が猟には出られないような状況になる可能性があります。令和4年度では、若い2名の方が狩猟免許、銃器の免許を取得したいという意向がありますので、その2名分の予算を計上しています。

夏期の 渇水対策

渡辺 夏になると時々、渇水という状況になりますが、町有林関係の中ではこれらの対策としてどのようなことが可能でしょうか。

経済課長 樹木の伐採において、分水から集水区域内にある国有林も含め、水源地上流の伐採はなるべく行わないよう国有林側にも申し入れており、町有林もできる限り切らないよう、水源涵養のための措置は取っています。

漁村青年活動費 補助金

小松 漁村青年活動費補助金について、活動費というよりも育成事業に充てるような内容にしてはどうでしょうか。

経済課長 この補助制度については、実質、漁協青年部の活動に対してその一部を補助し、毎年青年部がその年の活動計画を立て、その要望に基づき補助金を支出しているため、活動内容等についても、青年部の独自性を尊重したいと考えています。

商工費

大型運転免許等 取得費補助金

三田 この補助制度における令和3年度の実績はどのくらいありましたか。また、新年度予算の算定根拠として「大型6名、大型二種1名」とありますが、どのような形態の事業所に何人からの申請があるの見込んでいますか。

町長 サロマ湖は報徳の精神に基づいて養殖技術を確立してきた湖で、町の使命としてはこのサロマ湖の水産資源を未来永劫守り続けていくことだと思っています。そういった報徳の精神が、今の若い世代にどのように伝わっているかというところも一つの育成・教育だと思えますが、若手の組合員の中には「もっと勉強したい」という気持ちを持つ方もいると聞いており、大変心強く感じていますので、引き続き支援をしていきたいと思っています。

経済課長 令和3年度の実績は、大型免許が2名でしたが、本制度を開始した令和2年度は、牽引免許、大型免許を取得する方が5名いたため減っています。

新年度予算では、対象事業所及び要件について拡充し、商工業に加えて農林水産業の個人事業主の部分も対象とし、そこに勤める通年雇用の従業員の免許取得に係る補助も予定しています。また、運転免許証の種類について、今までの大型免許一種・二種や大型特殊、牽引に加え、免許制度の改正に伴い、中型・準中型免許を追加しましたが、新年度予算では実績を基に大型免許で算定し、申請が多い場合は補正対応したいと考えています。

渡辺 そこに勤める者とい者は要件に該当しますが、専従者は要件に該当しますか。

経済課長 専従者は同一家族内の人になるため該当せず、要綱では通年雇用する従業員という規定をし、その確認方法として雇用保険加入証、保険者証を提出のうえ、内容確認をすることとしています。

教育費

学校支援員の配置

三田 令和3年度は、支援員のなり手がおらず、予算を減額していましたが、令和4年度における支援員の配置はどのようなものになっていますか。

管理課長 現在の支援員は、佐呂間小学校5名、若佐1名、浜佐呂間1名、佐呂間中学校に3名いますが、配置の関係で佐呂間小学校は少し減る見込みであり、現在探している状況です。

教育に関する 今後の取り組み

小松 本町の教育に関する取り組みがすばらしいため、町外から移住してくるというような話も聞かれますが、それらの情報を町外に発信するなど、今後の取り組みについてどのように考えていますか。

教育長 令和4年度教育行政推進方針に、取り組み内容について細かく記載していますが、義務教育段階では子どもたちの基礎的な学力を高め、考える力を育成したいということで、各学校の教職員が一丸となって努力しており、さらに高校に進学する頃には将来描く目標が見つかり、それに少しでも手助けをしたいということ、入学時や卒業後の補助支援を行っています。それらの内容は、町ホームページでも見られるので目にしていただき、本町で子育てをしたいという方が増えれば良いと思います。

高橋 新年度の中3年生が2クラスに増えるのではと聞きましたが、その場合、学校経費や教職員に何らかの影響は出ないのですか。

管理課長 今のところは予定であり、そうなった場合に備えて教室等の準備を進めています。また、教職員の増員はありませんが、町単独の教員や支援員も導入しており、限られた人数の中で授業を展開していただくこととなります。